

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	土屋 尚代
	全体計画						経費区分		-		内線	3615
事務事業名	4267 中学校管理運営事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100301 教育費・中学校費・学校管理費										
	事業	020000 中学校管理運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
中学校の維持管理運営に要する経費で、教育環境の維持・整備を図る。						中学校の維持管理 学校運営の円滑な実施 教育環境の維持整備						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
平成24年度 実績	平成25年度 実績
中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備
平成26年度 実績	平成27年度 予定
中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備	中学校の維持管理、学校運営に要する経費の支出、教育環境の維持整備

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		94,910	97,052
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	200	0
	地方債	0	0
	その他	702	734
一般財源		94,008	96,318
人員数(人)	正規職員	0.7	0.6
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,800.6	4,114.8
	嘱託職員	272.5	272.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,073.1	4,387.3
市民一人当たりの経費		1.9	1.9
総額		99,983.1	101,439.3

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	757	盆栽借用等謝礼、卒業生徒記念品、中学校部活動謝金
11節 需用費	61,583	消耗品、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費（電気、ガス、水道、下水道使用料）、修繕料
13節 委託費	833	電算委託料、施設管理委託料、保守点検委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,952	教科研究費負担金ほか、上田市委託生徒負担金
その他	28,785	機器賃借料ほか

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	759	盆栽借用等謝礼、卒業生徒記念品、中学校部活動謝金
11節 需用費	63,538	消耗品、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費（電気、ガス、水道、下水道使用料）、修繕料
13節 委託費	835	電算委託料、施設管理委託料、保守点検委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	3,218	教科研究費負担金ほか、上田市委託生徒負担金
その他	28,702	機器賃借料ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	教育環境整備等、学校の適正な管理運営を行うため。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	教育環境整備等、適正な管理運営を行なっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	教育環境整備等、適正な管理運営を行い、経費の節減に努めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

中学校における教育環境整備等の適正な管理運営を行うことができた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

学校規模や設備の状況に応じ、適切な管理運営が図られた。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

各学校の状況に応じた教育環境整備等が実施できた。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--